

第 五 回

全日本カッター競技大会



(日 時) 昭和36年5月28日(日)
(会 場) 神 戸 商 船 大 学 沖
(主 催) 全 日 本 カ ッ タ ー 連 盟
(後 援) 神 戸 市
毎 日 新 聞 社
ス ポ ー ツ ・ ニ ッ ポ ン 社
十 六 社 会

KAWASAKI

DOCKYARD



新造船・修繕船・機関・ボイラー

産業機械・鉄構・水火力発電設備

川崎重工業株式会社

本社 神戸市生田区東川崎町2丁目14

支店 東京都港区芝田村町1丁目 日比谷ビル



新三菱重工業株式会社 神戸造船所

所長 佐藤孝夫

神戸市兵庫区和田崎町3丁目

電話 大代表 神戸 ⑥ 5061 番

目 次

挨拶	2
大会役員及び大会委員	3
競技場附近略図	4
各校クロー	6~16
審判規則	17
記録表	18



海の超特急！
日立造船・シュプラマル
水中翼船

船舶の新造・修繕・改造
日立 B&W ディーゼル機関
各種化学機械・プラント
橋梁・鉄骨・発電所諸設備

本社 大阪市北区中之島2丁目25番地 電話大阪 ⑧ 8051~9・8021~9
東京支社 東京都千代田区丸の内2丁目20の1（郵船ビル6階） 電話東京 (281) 5231~9



日立造船

第五回カッター競技大会を迎えて

神戸商船大学長 小 谷 信 市

新緑薫る五月二十八日・本大学南面海上において全海事関係大学の参加を得て、第五回全日本カッターレースを開催することゝなつたことは、誠に慶祝のいたりであります。

本学は五月二十六日・開学九周年を迎え、例年のとおり五月二十七・二十八の両日に亘り、開学記念祭を開催することゝなりましたので、時と処を同じくする関係上本カッターレースは記念行事のメインイベントとして、御来学を頂く各位の御好評が得られることを確信し、一入の喜びを感じる次第であります。

戦前・戦後を通じて陸上における諸競技が男女の別なく普及し、日と共に隆盛を極めつゝあるに拘らず、ヨット・カッター等舟艇による競技が限られた一部の特殊競技として顧る者の少いことは、海また舟の恩恵に生きる海国民としてやゝ失望を感じる、ところであります。

海事関係大学がそれぞれの教育及び研究を使命とすることは勿論であるが、一般青少年へ正しい海事思想を普及することも大きな使命と存じ、本カッターレースもその一助ともなれば関係者一同望外の喜とするところであります。

全国から集り来た海の若人が、力漕また力漕、春うらゝのちぬの海にくりひろげるこのレース、必ず皆様の御期待に添いうることを確信し、御家族お揃いにて多数御来学の上御観戦下さるようお待ちいたしております。

本カッターレース開催にあたり御高配を賜りました各位に深甚の謝意を表します

営業品名
海 海 水 船
事 路 船
図 書 用
図 書 誌 式
米英国版海図

日本水路図誌株式会社 神 戸 営 業 所

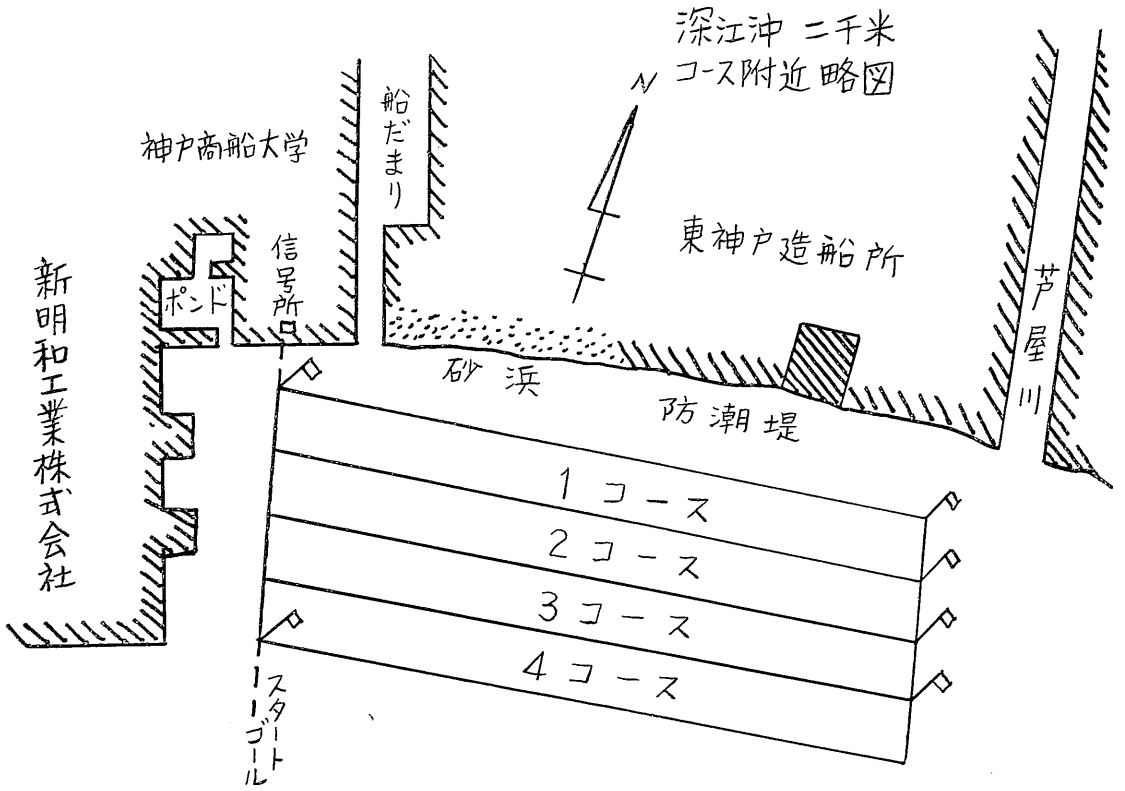
神戸市生田区海岸通五商船ビル七〇二号室

電 話 三 宮 ⑧ 6 0 1 2 番

電 報 略 符「コウベ」カイズ

本 社 東京都中央区築地3ノ10 (懇和会館)

電 話 東 銀 座 (541) 6 1 3 7 番



全日本カッター競技大会協賛

海
洋
会

船
長
協
会

日
本
航
海
士
会

日
本
船
舶
機
関
士
協
会

祝 第五回全日本カッター競技大会

飯野海運株式会社

日鉄汽船株式会社

大阪商船株式会社

日東商船株式会社

川崎汽船株式会社

日本海汽船株式会社

新日本汽船株式会社

日本郵船株式会社

大同海運株式会社

日本油槽船株式会社

東京船舶株式会社

三井船舶株式会社

東邦海運株式会社

三菱海運株式会社

日産汽船株式会社

山下汽船株式会社

(五十六音社順会)

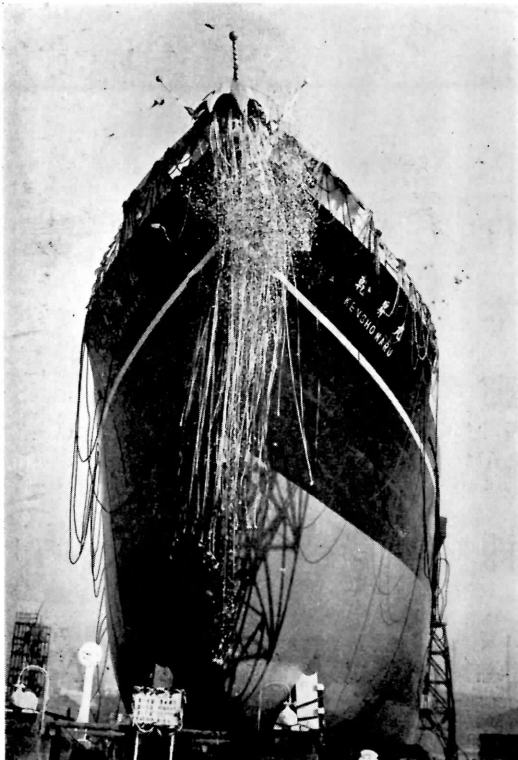
○

○

海 技 大 学 校

(◎主将 ○マネージャー)

氏 名	科・学年	体重	身長	出身校(所属会社)県
次喜郎也	本 2 N	55	167	弓削商船学校(愛媛)
範輝治	本 1 N	54	164	広島商船学校(神戸)
明山宮黒	本 1 N	56	161	海技専門学院(山形)
渡岡沼野	甲 2 N	66	165	川崎汽船(香川)
九辻鈴鹿	甲 2 N	61	170	沢山汽船(鹿児島)
田部明彦	甲 2 N	61	168	川崎汽船(京都)
常行明男	甲 2 N	59	170	川崎汽船(宮崎)
文隆	甲 2 N	59	171	大阪商船(山口)
山田口野	甲 2 N	59	165	日本郵船(福島)
藤中达寺	甲 2 N	62	167	三重水産高校(三重)
小林正敏	甲 2 E	64	169	日本郵船(北海道)
竹谷寛史	甲 2 E	64	180	大同海運(山梨)
小井村	甲 2 E	63	169	三光汽船(兵庫)
池上田	甲 2 E	64	164	日本郵船(徳島)
浅沼	甲 2 N	53	168	沢山汽船(岡山)
	甲 2 N	52	162	第一中央汽船(福岡)
	甲 2 E	55	165	大阪商船(石川)
	甲 2 N	62	162	東都水産(宮城)
	本 2 N	55	162	海技専門学院(千葉)
	本 2 E	60	165	海技専門学院(岩手)



株 式 會 社

藤 永 田 造 船 所

大阪市住吉区柴谷町二丁目九番地

電話住吉(67) { 2 6 9 3 ~ 8
5 0 2 1 ~ 6
5 1 2 1 ~ 5

日 本 大 学 水 産 学 科

顧 問 艇指揮 艇長	氏 名	科・学年	体重	身長	出身高校(県)
1	添丸 田 秀男	製 2	56	162	岡谷南高(長野)
2	田 茂 凱夫	漁 4	60	170	小金井高(東京)
3	田 中 夏一	増 3	67	165	川越高(埼玉)
4	小 島 田 求	製 2	60	174.5	日六二高(東京)
5	磯 兼 一 哉	漁 2	62	167	古座高(和歌山)
6	○鳥 居 太 郎	漁 2	63	172	日本学園高(東京)
7	加 藤 英 嗣	漁 1	58	170	日大藤沢高(神奈川)
8	竹 田 秀 彦	漁 1	57	161	国士館高(東京)
9	酒 守 井 光 雄	漁 2	71	178	氷見高(富山)
10	◎椎 山 友 賢	増 1	61	169	日大鶴高(東京)
11	前 川 治 男	製 2	70	167	両津高(新潟)
12	横 地 龍 男	漁 2	58	166	巢鴨高(東京)
補	糟 谷 六 重	漁 2	60	169	日大三高(東京)
補	服 部 武 郎	増 1	67.5	174	竹台高(東京)
補	中 西 征 太 孝	漁 1	65	167	焼津水産高(静岡)
補	桜 井 正 孝	製 1	60	170	安房水産高(千葉)
	三 保 孝 之	製 1	68	170	日大江古田高(東京)
			72	175	二松学舎高(東京)



— SAN'YASU —



船 舶 建 造 並 修 理

陸 舶 用 諸 機 械 製 造 修 理

船 舶 救 難 沈 没 船 の 引 揚

佐野安船渠株式会社

代表取締役社長 佐野川谷保治

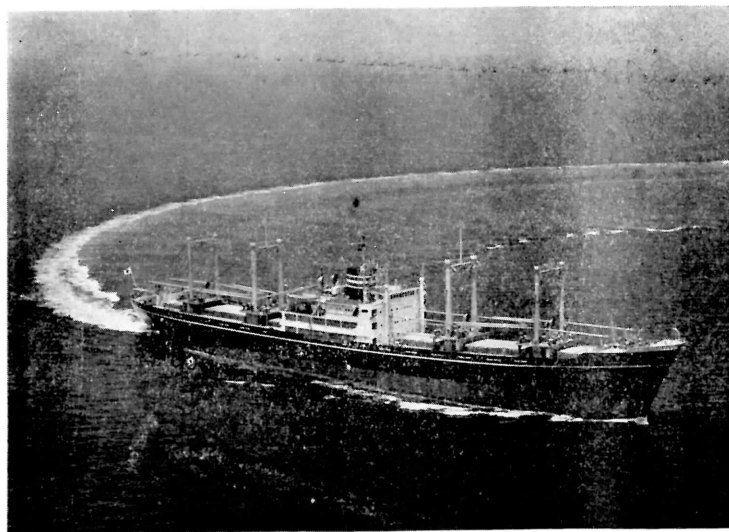
大阪市西成区津守町西八丁目二五

電話大阪 ⑤ { 5 4 3 1 (代表) ~ 5
3 5 3 5 ~ 6 }

長 崎 太 学

氏 名	科・学年	体 重	身 長	出 身 高 校 (県)
一六道司雄夫	漁 3	53	161	崎 (長)
正良力久敏紀公晶辰三	漁 3	62	165	島 (宮)
坂上田蘭口木野田津	漁 3	60	162	崎 (福)
松井島相江荒湯松今原中佐川服東竹古永久小今	漁 3	63	168	岡 (岡)
	漁 3	64	167	岡 (分)
	漁 3	62	170	本 (賀)
	漁 3	63	168	島 (口)
	漁 3	63	173	山 (山)
	漁 3	65	170	根 (山)
	漁 3	66	177	岡 (岡)
	漁 3	60	167	根 (山)
	漁 3	63	165	岡 (岡)
	漁 3	63	173	根 (山)
	漁 3	63	169	岡 (岡)
	漁 3	63	171	根 (山)
	漁 3	64	167	分 (山)
	製 3	62	164	本 (本)
	漁 2	60	165	口 (口)
	漁 2	62	165	本 (本)
	増 2	50	162	高 (京)

顧問
艇指揮長
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
補
補
補
補
補
補
補



本社工場

大阪市住吉区北加賀屋町四丁目五
電話 大阪 ⑦ 2 7 4 4 ~ 9 番



株式 会社

名村造船所

各種船舶建造並修理
船用諸機械製作並修理

取締役社長

名

村

源

鹿 兒 島 大 学

氏 名	科・学年	体 重	身 長	出身高校(県)
元 国	製 3	56	164	高 津 高(大 阪)
好 祐 二	漁 3	54	162	佐 世 保 北 高(長 崎)
永 寛 邦 宏	製 2	65	164	杵 築 高(大 分)
橋 康 生	増 2	58	168	香 椎 高(福 岡)
島 教 三	漁 2	68	167	九州学 院 高(熊 本)
飼 紘 和	増 2	58	171	大 竿 田 南 高(福 岡)
藤 谷 桂 介	漁 2	63	170	操 山 高(岡 山)
狩 田 順 也	漁 3	60	164	追 手 前 高(高 知)
前 橋 恒 俊	漁 3	63	171	本 巢 高(岐 阜)
坂 梨 英 機	漁 2	70	170	玉 名 高(熊 本)
森 田 延 偉	製 3	68	170	宗 像 高(福 岡)
山 野 川 彬	製 3	64	168	鞍 手 高(福 岡)
古 川 弘 一	漁 2	56	160	旭 高(大 阪)
佐 賀 満 治	漁 2	60	167	今 治 北 高(愛 媛)
持 永 千 夫	漁 3	60	167	筑 紫 丘 高(福 岡)
古 賀 敏 夫	漁 3	70	182	広 大 附 属 高(広 島)
開 賀 田 輔	漁 3	60	165	大 牟 田 北 高(福 岡)
○飯 野 照	漁 3	60	169	城 北 高(東 京)



川崎製鐵株式會社

本 社 神 戸 市 葦 合 区 脇 浜 町 3 丁 目

支 店 東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 2 の 3 (東 京 ビ ル)

営 業 所 名 古 屋 ・ 広 島

出 張 所 札 幌 ・ 仙 台 ・ 富 山 ・ 福 岡

海上保安大学校

顧問 艇指揮 艇長	氏 名	科・学年	体重	身長	出身高校(県)
1	◎佐々木 忠志	N 3	68	173	築館 高(宮 城)
2	下江 旭勤	N 3	55	165	戸手 高(広 島)
3	徳野 輝久	2	58	164	高津 高(大 阪)
4	大村 勇介	2	56	164	山田 高(福 岡)
5	茅岩 修介	2	64	167	松坂 高(三 重)
6	則包 辰男	2	62	169	福岡 高(福 岡)
7	波藤 鋭一	2	75	168	西京 高(京 都)
8	陶菅 野城	E 3	65	170	大牟田 高(福 岡)
9	竹中 谷立	N 3	76	176	臼杵 高(大 分)
10	足立 有立	2	67	172	仙台 二 高(宮 城)
11	武原 牧一	2	69	178	神辺 高(広 島)
12	立井 康久	2	71	178	大甲 高(兵 庫)
補	伊藤 勝久	2	67	175	六甲 高(東 京)
補	○津 勝久	N 3	65	168	松本 志 高(長 野)
補		E 3	65	173	浦和 高(埼 玉)
補		1	65	173	天王 寺 高(大 阪)
補		I 1	60	170	海城 高(京 都)
補		E 3	53	162	豊中 高(大 阪)

ダ ン ネ ー ジ、ウ ツ ド

ハ ッ チ ボ ー ド

シ フ テ イ ン グ ボ ー ド 一 式



舶用装備工業株式會社

神戸市生田区播磨町45 (大興ビル一号)

TEL ③ 1569. 1863. 8057

三 重 県 立 大 学

氏 名	科・学年	体重	身長	出身高校(県)
雄樹一久	漁 3	58	171	松 高(三 重)
鉄万紘	漁 3	54	162	阪 高(愛 知)
川田越内	漁 3	63	169	日 市 高(三 重)
宮 貞 一	漁 3	54	160	津 豆 島 高(三 重)
岡 野 征 介	漁 3	60	165	小 刈 谷 高(香 川)
田 誠	2	57	165	畝 傍 高(愛 知)
米 田 中 上	2	59	167	畝 傍 高(奈 良)
山 口 卓 一	2	56	165	津 桜 丘 高(三 重)
◎田 井 道 村	漁 3	65	172	ケ 日 市 高(三 重)
高 黒 林 義 也	漁 3	63	171	松 阪 高(三 重)
石 倉 美 治	漁 3	62	171	松 阪 高(三 重)
水 杉 勇 宏	漁 3	62	171	東 海 高(愛 知)
◎石 倉 谷 本	漁 4	63	167	津 宇 治 山 田 高(三 重)
永 杉 谷 本	漁 3	62	172	字 日 市 高(三 重)
柴 永 富 山	漁 3	62	168	四 戸 高(三 重)
鈴 小 寺	漁 3	55	165	瑞 小 倉 西 高(愛 知)
	2	52	163	瑞 小 倉 西 高(山 口)
	2	54	166	倉 西 高(山 口)
	2	57	167	松 阪 高(三 重)
	漁 3	58	170	神 戸 高(三 重)
	2	54	160	明 和 高(愛 知)



株 式 會 社 吳 造 船 所

取 締 役 社 長 住 田 正 一

東 京 本 社 東京都千代田区丸ノ内一丁目一番地 第一鉄鋼ビル内
電 話 東 京 (201) 0 3 8 1 (代 表)

神 戸 事 務 所 神戸市生田区浪花町六四番地 三ノ宮電々ビル内
電 話 神 戸 (3) 3 7 7 6 - 8

吳 造 船 所 吳 市 昭 和 通 二 丁 目 一 番 地
電 話 吳 (2) 5 1 7 1 (代 表)

東 京 水 産 大 学

氏 名	科・学年	体重	身長	出身高校(県)
康 克 雄	漁業 4	65	171	津 高(三 重)
木 幸 幸	漁業 4	62	169	飯 山 北 高(長 野)
◎ 田 伊 只	漁 3	65	178	国 府 高(愛 知)
中 野 沢	増殖 3	62	168	新 潟 南 高(新 潟)
鷺 野 三	漁 3	65	172	富 田 林 高(大 阪)
戴 上 田	漁 3	65	174	清 陵 高(長 野)
5 井 崎 村	漁 3	65	166	三 原 高(広 島)
6 杉 ノ 原 伸	漁 2	66	163	桜 ケ 丘 高(石 川)
7 前 田 洋	漁 3	73	179	広 島 大 附 属 高(広 島)
8 成 宮 本	漁 3	70	171	小 倉 高(福 岡)
9 林 昌 国	増殖 2	68	175	姫 路 西 高(兵 庫)
10 宮 林 昌 国	増殖 3	69	171	熊 本 一 高(熊 本)
11 津 岡 昌 国	増殖 3	65	169	千 葉 一 高(千 葉)
12 浜 平 川	増殖 3	60	168	八 代 本 高(熊 本)
補 川 一 鶴	漁 2	70	172	熊 本 倉 高(熊 本)
補 川 一 鶴	漁 2	62	162	小 倉 高(福 岡)
補 川 一 鶴	漁 2	60	166	今 治 西 高(愛 媛)
補 川 一 鶴	漁 2	65	174	長 生 一 高(千 葉)
補 川 一 鶴	漁 2	63	169	豊 津 高(福 岡)
補 川 一 鶴	漁 3	59	169	伊 都 高(和 歌 山)

NAGOYA MOR WINCH

新 発 売

低油圧ウインチ

特 性

1. 構造簡単、小型軽量
2. 運転静粛、操縦容易
3. 荷役能率飛躍的向上
4. 船価低減に効果大
5. 維持保修費の激減
6. 運航採算の向上有利



名古屋造船株式会社

取締役社長 福 原 敬 次

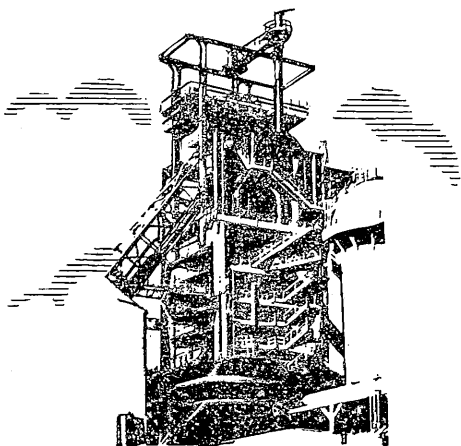
本 社 名 古 屋 市 港 区 昭 和 町 一 三 番 地
 東京事務所 東京都千代田区丸の内一丁目六ノ一 東京海上ビル
 神戸事務所 神戸市生田区明石町三二 明海ビル709号室
 四日市出張所 四 日 市 千 歳 町 八

電話 ⑧ 5151(代表)
 電話(281)2791(代表)
 電話 ⑧ 6651・3276
 電話 四日市 6318

防 衛 大 学 校

観 艇 指 揮 長	問 艇 長	氏 名	科・学年	体 重	身 長	出身高校(県)
1	野 牧	平 子	機 械	56	160	朝 日
2	朝 中	山 倉	電 気	70	175	佐 世
3	永 河	二 成	応 物	57	160	保 南
4	高 向	海 博	機 械	64	167	西 南
5	柴 松	佐 美	機 械	70	174	分 高
6	向 柴	敦 元	応 物	65	170	亀 香
7	松 野	博 一	航 工	70	177	米 大
8	野 藤	二 男	機 械	71	171	附 設
9	齊 鹿	義 正	機 械	65	173	高 高
10	別 府	弘 毅	航 工	70	172	南 陽
11	千 々	富 郎	土 木	69	176	北 口
12	小 平	千 男	航 工	66	170	サ ー
補	池	三 雅	機 械	70	164	園 柳
補	塚	木 也	電 気	60	167	治 西
補	原	清 勝	応 化	67	174	原 高
補	井	朝 男	航 工	67	176	岡 高
補	○新	武 雄	電 気	60	171	柏 陽
補			機 械	60	164	見 泉
補			電 気	68	164	武 雄
補			航 工	70	174	両 国

鉄 鉱 石 から 機 械 ま で …



営 業 品 目

開発・鉱山用機械、セメント製造用機械
化学工業用機械、その他産業用諸機械
船舶・車輛用品、鑄鍛鋼品、チタン製品
高温押出管及び異形材、切 削 工 具
電弧溶接棒、各種圧延鋼材、銅・真 鍮
アルミ展伸材、軽合金鑄鍛造品



本 社
支社・東京

株 式 會 社 神 戸 製 鋼 所

神戸市葺合区脇浜町一丁目

営業所・札幌・新潟・名古屋・大阪・小倉

農 林 省 水 産 講 習 所

	氏 名	科・学年	体 重	身 長	出身高校(県)
顧 問	橋 本 市 雄				
艇指揮	丹 野 文 司	漁業 3	52	160	山 形 南 高(山 形)
艇 長	◎秋 吉 洋 道	漁業 3	52	164	東 筑 高(福 岡)
1	水 間 滋	製造 3	65	168	山 田 高(福 岡)
2	松 本 晋	製造 2	63	166	小 倉 高(福 岡)
3	楠 宗 憲	機関 3	66	172	明 善 高(福 岡)
4	山 本 竜 夫	製造 3	67	171	別府鶴見ヶ丘高(大分)
5	穴 見 恋 英	製造 2	70	166	大分舞鶴高(大分)
6	本 田 公 一	機関 2	70	168	東 筑 高(福 岡)
7	吉 瀬 満 紀	機関 2	72	170	朝 鞍 高(福 岡)
8	村 本 清 春	機関 3	81	176	京 都 高(福 岡)
9	井 塚 本 清	漁業 2	68	173	菊 里 高(愛 知)
10	本 田 法 弘	漁業 3	65	170	山 鹿 高(熊 本)
11	牟 田 信 一	漁業 2	65	168	福 岡 高(福 岡)
12	沢 田 和 博	漁業 2	65	170	福 岡 高(岩 手)
補	○秋 元 鉄 夫	製造 3	56	167	池 田 高(大 阪)
補	小 倉 敏 司	増殖 2	63	171	成 東 高(千 葉)

船 用 ポ ン プ



藤 田 製 作 所

本 社 滋賀県八日市市東本町三丁目410番地
電 話 八 日 市 1 0 2 . 1 0 3
大阪営業所 大 阪 市 北 区 永 楽 町 入 (日産生命ビル)
電話大阪 ㊤ 2734 . 2736 . (312) 1841
東京出張所 東 京 都 中 央 区 宝 町 一 丁 目 三 番 地 (吉住ビル)
電 話 東 京 (561) 6 6 5 3 . 6 6 5 4



協 立 電 波 株 式 会 社

代表取締役社長 茂 泉 和 吉 郎

舶 用 無 線 電 信 電 話 装 置
船 舶 用 レ ー ダ ー
エレクトロニツク・エンジンアナライザ

神戸営業所 神戸市生田区元町通5丁目127番地 電話㊤2277 . 5262
本 社 工 場 東 京、支 社 玉 野、大 阪、横 浜

東 京 商 船 大 学

	氏 名	科・学年	体 重	身 長	出身高校(県)
顧問	中 島 保 司	N 4	62	172	韭 崎 高(山 梨)
艇指揮	◎赤 岡 隆 紀	N 3	58	164	芝 高(東 京)
艇 長	高 橋 正 夫	E 4	64	171	小 石 川 高(東 京)
1	永 塚 嘉	E 2	58	167	武 蔵 丘 高(東 京)
2	飯 田 晴 龍	E 4	60	170	厚 木 高(神 奈 川)
3	東 野 口 二 生	N 2	55	160	旭 川 西 高(北 海 道)
4	岡 本 信 正	E 3	61	173	桜 町 高(東 京)
5	岡 淡 井 康 夫	E 3	65	165	唐 津 東 高(佐 賀)
6	有 馬 克 弘	E 2	63	165	川 島 高(德 島)
7	佐 藤 孝 祐	E 3	64	168	門 司 北 高(福 岡)
8	清 水 孝 典	N 2	69	172	枋 木 高(枋 木)
9	吉 田 雅 高	N 3	65	172	九 段 高(東 京)
10	大 塚 敏 久	E 2	62	169	奈 良 高(奈 良)
11	星 野 行 夫	N 3	60	167	修 猷 館 高(福 岡)
12	近 藤 勝 之 須	E 4	63	168	東京大学附属高(東 京)
補	永 田 重	E 4	62	169	八 潮 高(東 京)
補	○塩 田	E 3	62	168	西 彼 杵 高(長 崎)
補		N 4	62	171	高 松 高(香 川)



船舶用冷凍貨物艙・糧食庫・製氷

冷房装置・冷蔵装置・各種工業用冷却装置

冷 暖 房・温湿度調整・乾燥装置

日本サフロー株式会社

本 社 大阪市北区梅田新道(日産生命会館内) 電話大阪(34)代表7633-7633
 工 場 大阪市西淀川区野里東三丁目三 電話淀川(47) 3336-3339
 東京出張所 東京都中央区日本橋江戸橋1-15(藍沢証券ビル) 電話千代田(271) 9420.9445
 清水出張所 清水市三保塚間498 電話清水(2) 3404
 長崎出張所 長崎市水之浦町186 電話長崎(3) 5966
 神戸出張所 神戸市生田区元町七丁目ノ三(大橋ビル内) 電話元町(4) 2147

神 戸 商 船 大 学

問 長 艇 指 揮	氏 名	科・学年		体 重	身 長	出身高校(県)
1	西川石国	4	N	60	170	福知山(京都)
2	小谷山	3	N	60	169	小倉(岡山)
3	須賀組	4	E	60	166	光學園(岡山)
4	高田山	2	E	60	164	佐山(高知)
5	河奥村	2	E	65	173	土佐(兵庫)
6	齊藤野丸	2	E	63	170	篠山(大阪)
7	佐藤地	2	N	68	172	旭施(大阪)
8	林高安	4	N	63	173	賀田(佐賀)
9	勢正	3	E	63	168	賀田(兵庫)
10	久男	3	E	65	167	賀田(香川)
11	義卓	2	N	75	167	賀田(兵庫)
12	原村崎	2	N	64	165	賀田(大阪)
補	南海	4	N	66	172	賀田(兵庫)
補	博宏	4	E	63	168	賀田(香川)
補	健一	2	N	63	170	賀田(大阪)
補	靖男	2	N	61	162	賀田(兵庫)
補	恒和	2	N	64	165	賀田(大阪)
補	宗正	2	E	58	162	賀田(岡山)
補	駿一	2	E	60	165	賀田(兵庫)
補	成誠	3	N	63	172	賀田(岡山)
補	平純					

営 業 ・ 科 目

各種船舶の新造及修理



諸機械製作・土木建築業

浦 賀 船 渠 株 式 会 社

本 社 東京都千代田区大手町二丁目4 (新大手町ビル7階) 電話東京 (211) 1 3 6 1 (大代表)

浦賀造船所 神奈川県横須賀市浦賀町四丁目七 電話浦賀(代)80・180横須賀2355~7

横浜工場 横浜市神奈川区大野町二番地 電話横浜 ④ 5 3 3 1 ~ 5

大阪営業所 大阪市北区絹笠町50(堂ビル8階) 電話大阪 ⑧ 4 8 1

1. 使用艇、オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
2. スタート
 1. 各艇は指定の時刻コース順に従いスタートラインに整列する。
 2. 5分前をマイクにより通達、スタートブイにつく、ブイに着き用意が完了したら艇長は陸上の審判員に手を挙げて合図する。
 3. スタート用意：号笛短声連続、手旗2原画、号笛長一声手旗頭上より一回転する。
 4. スタート：頭上の手旗を垂直に振下すと同時に号砲を打つ。
3. 審判長、審判員がスタートを不完全と認めた時は直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。
- 諸信号、審判艇コース横断
4. スタートに於ける号令前の飛出し、及び艇の事故によるスタートの遅速等は2回で失格である。
5. 回頭は左回頭（反時計回り）とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合、及び回頭旗に艇又はオールの一部でも接触した場合は失格である。
6. ゴール
 - 艇首が規定のゴールラインに入つた順序をもつて順位とし、順序は審判員が判定する。
7. 同着の場合は追込艇の勝とする。
8. ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
9. 各艇は自己のコースを航行し、もしこれを誤つて他の艇に接触その他不正行為があつたと審判員の認めたときは失格とする。
10. レース中のコースに於ける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自からこれを忍ぶべきものとする。しかし審判長の判断によりこの限りでない時もある。
11. レースに関する異議申立等はすみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
12. オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
13. 補決は2名以内自由に交替できる。
14. オールは流したままゴールインしても差支えない。

優れた技術が
世界を巡る



船舶造修
三井B&W
ディーゼル機関
化学工業プラント
産業用機械



三井造船株式会社

本社 東京都中央区日本橋室町2ノ1 電話 (241) 2101
7101
玉野造船所 岡山県玉野市玉10 電話 (玉野) 3111

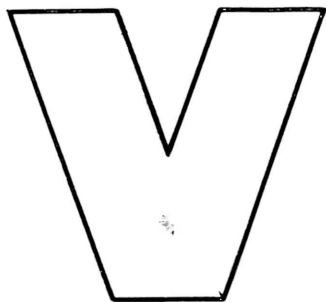
天 候.

風 向.

風 速.

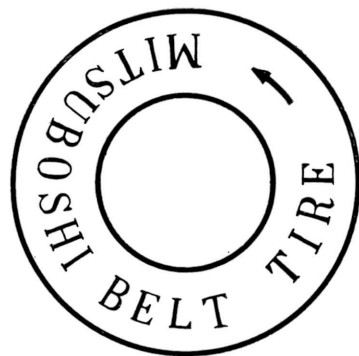
波 浪.

時 刻	種 目	コース	校 名	着 順	タ イ ム
09.00	開 会 式				
10.00	予選第1レース				
10.35	予選第2レース				
11.10	予選第3レース				
11.30～13.00 昼 食 休 憩					
13.30	敗者復活レース				
14.10	順位決定レース				
15.15	決 勝 レ ー ス				
15.45	閉 会 式				



ベルト
コンベヤベルト

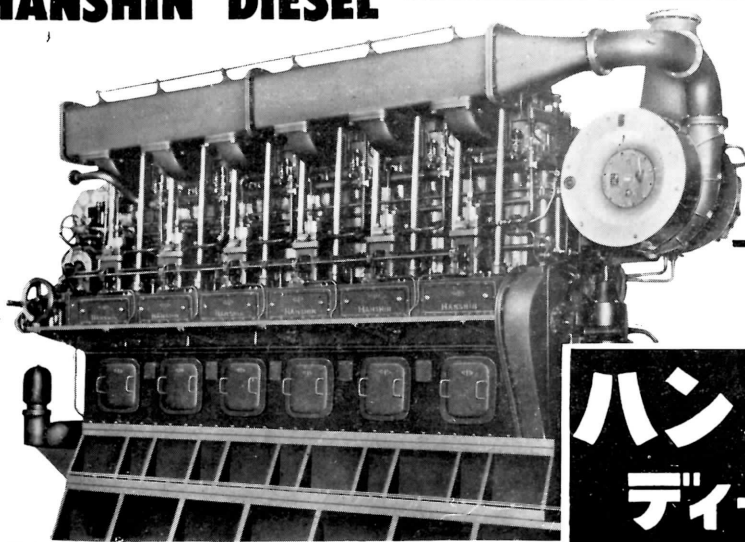
◁ ゴムロール



三ツ星調帯株式会社

神戸市長田区浜添通四丁目七
電話湊川 ⑤ 6431 ~ 3, 6351 ~ 3

HANSHIN DIESEL



船舶用
発電用
動力用

65~4500馬力

阪神三菱横浜
可変ピッチプロペラ
製造・販売

**ハンシン
ディーゼル**

最高の品質・性能
完全なアフターサービス

阪神内燃機工業株式会社



本社 神戸市長田区一番町3丁目1番地 電話神戸 ⑥ 1531 ~ 6
東京支店 東京都千代田区丸ビル601 電話東京(201)3640 ~ 1
下関出張所 下関市豊前田町第一ビル 電話下関 ② 768

躍 進 す る

三 菱 造 船 の

産 業 機 械



MITSUBISHI ZOSEN

三菱造船株式会社

船舶・陸船用原動機

製 鉄・鋁 山

化 学・工作機械

鉄 構・其 の 他

本 社 東京都千代田区丸の内
2の4 (三菱本館)

電 話 (281) 5111・3111

営業所 大阪・神戸・福岡・
名古屋・札幌・香港・
New York・
Duesseldorf・Oslo

工 場 長 崎・下 関・広 島